



社会福祉協議会情報

ふれあい

福智町社会福祉協議会

- ・ 会長新年のあいさつ ————— 2
- ・ 赤い羽根共同募金運動の御礼 ————— 3
- ・ 地域支え合い体制づくり事業 ————— 4
- ・ 社協の事業報告 ————— 5
- ・ 社協からのお知らせ ————— 8



福智町身体障害者福祉会の皆さまによる街頭募金



謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様方には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、福智町社会福祉協議会の運営並びに福祉事業の推進におきまして、町民各位・行政・議会・関係機関団体等の多くの方々の方ならぬご協力とご理解を賜り、心より感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

さて、旧3町の社会福祉協議会が合併し、早8年を迎えようとしています。その間、東日本大震災という未曾有の大災害があり、そのことによって「きずな」の重要性が再認識され、「新たな支え合い」の形が求められています。

平成23年度に策定した「地域福祉活動計画」を現在、4つの推進部会を中心に見直し作業を行っており、5カ年計画で残された2年間（平成26年度・平成27年度）の取り組みについて、方向性を明らかにしているところです。

ますます進む少子高齢社会に対応するためには、地域見守り支援ネットワークを広め、支え合いの意識を活性化していく必要があります。また、地域での自主的な地域防災・防犯の意識を高め、災害や犯罪に強い地域をつくっていくことが大切です。さらに介護保険制度の改正（平成27年度）を控え、地域で介護予防の意識付けと実践を行い、健康で生きがいのある人生を送ることがこれから真に必要とされる地域づくりの形であると考えています。

福智町社会福祉協議会はその調整役となり「地域で誰もが安心して暮らせることのできる福祉の町」の実現に向けて取り組んでまいります。そのためには、住民の方々や行政・議会・関係機関団体のご理解とご協力なくしては実現不可能と申しても過言ではございません。

今後も役職員一同、心をひとつにして鋭意努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。終わりになりましたが、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

平成26年元旦

社会福祉法人 福智町社会福祉協議会

会 長 白 石 勝 彦



赤い羽根共同募金運動に ご協力いただきまして 誠にありがとうございました

今年度も平成25年10月1日より12月31日まで、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。福智町においても、各家庭からの戸別募金・会社や店舗からの法人募金・街頭募金や学校募金、イベントでの募金など、様々なところから心あたたまる募金をいただきまして誠に有難うございました。

集まりました募金は一旦、福岡県共同募金会へ送金させていただきます。来年度配分金という形で福智町に戻ってきます。そして、さまざまな福祉事業に使われます。募金の詳細につきましては、3月号のきずなだよりでお知らせいたします。

期間中は、各行政区の区長さん、組長さん、また民生委員の皆さまに多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



今年度の配分金では下記のような事業をおこなっています。

障がい児夏期休暇サポート事業
心配ごと相談事業
サマースクールかえるの学校
社協だよりの発行
ボランティア活動推進事業
フレンドシップミーティング事業
小中学生ボランティア事業
子育てサロン日本語教室
福祉教育読本の配布 など



福智町身体障害者福祉会には、毎年街頭募金活動のご協力をいただいています。今年も11月7日、スーパー川食赤池店とトレードマート方城店に分かれ募金活動をおこない、25,691円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

また、11月2～3日におこなわれた福智町文化祭では、社会福祉協議会でわたがし、ヨーヨー、風船の出店を、福智町民生児童委員協議会の皆さまにはチャリティーバザーの出店をいただき、その売り上げ合計85,700円を赤い羽根共同募金に寄附いたしました。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。



地域での支え合いの体制づくりをしています。

少子高齢化、ひとり暮らし高齢者の増加、地域での孤立化などの問題を踏まえ、共に支え合える地域づくりを目的として、現在地域支え合い体制づくり事業が進められています。各モデル地区の状況に合わせ、見守りの体制づくり、防犯対策、防災対策、介護予防対策など、様々な活動がされています。今回は2地区の取り組みを紹介します。

◎方城25区（矢久保地区）

防災の取り組み（災害時避難訓練）



彦山川氾濫時に地区全体が浸水区域とされている矢久保地区では、モデル地区の指定を受けてから、防災への取り組みを続けています。防災DIGの実施や地域の防災マップの作成をとあして、住民の防災に対する意識を高め、昨年5月26日に避難訓練を実施しました。避難訓練では、消防団消防車のアナウンスで避難開始。3グループがそれぞれの集合場所に集結し、一時避難所の職員区集会所や方城分館、伊方小学校へ徒歩や乗用車で向かいました。この日は地元住民をはじめ、消防団、警察、役場・社協職員など総勢約60名での訓練になりました。

訓練をとあして浮上した課題を検討し、地域の避難マニュアルの作成をすすめています。



方城25区 田島 靖 区長

矢久保地区は世帯数が23世帯の小さな区です。しかし、区の中には見守りの必要な人がいたり、浸水区域になっていて豪雨時には避難の必要があり、地域の住民同士での連携が必要でした。支え合い体制づくり事業をとあして、さまざまな取り組みをする中で、地域の人と人とのつながりができたのが一番の収穫だったと思います。

◎赤池4区（四区きずな会）

防犯の取り組み（防犯パトロール）



平成24年度にモデル地区での取り組みを始めた赤池4区では、要支援者の見守りマップの作成からはじめ、地域に不法投棄のある場所があったり、上野小学校があることから、自主防犯組織を立ち上げました。県の補助金なども利用して、看板や防犯ステッカー、パトロールジャンパーを作成。住民一体となって不審者を寄せ付けない地域づくりをすすめています。この日は週1回の定期パトロール日、5人のメンバーが公民館に集結。下校児童を見守りました。



災害ボランティアセンター 設置運営訓練に参加



大規模災害時、社会福祉協議会には被災者とボランティアを結び付ける「災害ボランティアセンター」の設置が求められます。いざというときに社会福祉協議会がセンターを迅速に設置、また運営できるように田川地区社協連絡協議会主催で10月5日～6日の2日間、設置・運営訓練をおこないました。福智町社協からは9名の職員が参加し、災害ボランティアセンターの仕組みや他市町村で実際に設置されたセンターの状況等を学びました。また2日目の運営訓練では受付班・ニーズ班・マッチング班・総務班に分かれ、実際にボランティアの受け入れをして班としての動きや、班同士の連携方法などを体得しました。

伊方小学校で障がい者疑似体験学習



11月28日、伊方小学校4年生51人が、車いすやアイマスクを使った障がい者疑似体験学習をおこないました。車いす体験では、実際に体育館内を自分で動かしてみたり、介助の人に押ししてもらいながら、段差をこえてみたりしました。

アイマスク体験では、目隠しをした状態で白杖を使って点字ブロックの上を歩いてみたり、介助してもらいながら歩いてみたりしました。「大変だった」「怖かった」などの感想も聞かれ、安心して暮らせるようなバリアフリーのまちづくりやものづくりが必要なこと。障がいのある人に寄り添うところのバリアフリーも必要なことを学んでくれたのではないかと思います。

ふれあい交流・介護予防教室で健康づくり



神崎の南木地区では、昨年4月にふれあい交流を始めました。ふれあい交流は地域の高齢者が中心に月一回公民館に集まり、体操やゲーム、会食などをして交流を楽しむものです。また同地区では10月から介護予防教室も開催。ストレッチ体操・筋力トレーニング、口腔・栄養管理、認知症予防などで、いつまでも地域で元気に暮らせるよう、からだづくりや交流に励んでいます。



福祉入門教室を開催しました

平成25年10月に福祉入門教室を3回シリーズで開催しました。この福祉入門教室は身近に起こる福祉問題を考えたり、これから地域のために少しでも力になりたい、そんなあなたを応援する講座です。



第1講 10月25日 13:00～

エンディングノート～自分らしい人生の終活

北九州市立消費生活センター専任講師の森十四子さんをお招きし自分らしい人生の終活というテーマで今話題のエンディングノートの講座を実施しました。講座では、エンディングノートは遺された人への思いやりであり、これから先自分に起こり得ること（病気、介護、看護、葬儀、供養など）への意思表示として十分に活用して欲しいといった内容を話されていました。

参加者の方はご自身の人生の終活を考えながら講座を聴いていました。



第2講 10月25日 19:00～

傾聴ボランティア～こころのケア

「聞く」と「聴く」の違いがわかりますか？ ただ話を聞くだけではなく、相手の心をくみとり心に寄り添いながら聴くのが「傾聴」。簡単にできそうな傾聴ですが、講師のNPO法人傾聴協会このココロ代表理事である葉月優理菜さんの講座を聴き傾聴の難しさを痛感しました。

ふだん相談を受けたとき、何とか問題を解決してあげたいという気持ちで話を聞いていますが、まずは解決を急ぐことよりも、相手の気持ちをくみ取ることが大切で、「傾聴」では問題は解決できなくても良い、相手のこころに寄り添うことが大切なのだという話をされました。

今回は1回りの講座でしたが、今後また傾聴のスキルアップ、傾聴ボランティアの養成をふまえ講座を開催したいと思います。

第3講 10月28日 13:00～

消費生活問題～身近に潜む畏から身を守る

身近にひそむ悪徳商法被害。詐欺内容も年々巧妙化してきており被害者・被害額も右肩上がりとなっています。今回の講座では福岡県消費生活センターの田代倫子さんをお招きし、映像を交えて最近の詐欺手口、勧誘の断り方、どこに相談すればいいのかなど詳しく話をして頂きました。

memo

NHKの発表によるとH25/12/3現在、一年間の振り込め詐欺の全国の被害額は383億円。過去最悪を記録しています。



ボランティアセミナーを開催しました

福智町ボランティア連絡協議会主催で今年度も3回のボランティアセミナーが開催されています。うち1回目の「ボランティア基礎編」と2回目の「環境ボランティア編」を開催しました。



1回目 10月11日 19:00～

ボランティア基礎編

NPO九州理事の今村晃章さんをお招きして、ボランティア活動の歴史、ボランティアの定義やその特性の変遷などをお話いただきました。「ボランティア」では、よく「無償」であるということが強調されますが、本来ボランティア活動では「自発」的であることが重要で、奉仕や慈愛とは違い、活動者と受益者が「対等」な関係であることが特徴のひとつであることなどを教わりました。



2回目 11月29日 19:00～

環境ボランティア編

環境問題に取り組むボランティア活動にふれてみよう！ということで、国土交通省遠賀川河川事務所河川環境課の職員2名の方をお招きし、「遠賀川の水環境に対する取り組みについて」を学ばせていただきました。毎年遠賀川の上流で捨てられ河口に集まるゴミの量は、なんと25mプール7杯分。ゴミの減量、水質の改善をすすめるためには、私たちがもっと川に愛着をもつことが重要なことだと学びました。

★3回目のボランティアセミナーのお知らせ

日時：平成26年2月7日（金）19:00～20:00

場所：金田保健センター 【参加無料】

災害ボランティア編

（災害時、地域をこえたボランティア活動）

講師：福岡県社会福祉協議会 田中忠輔さん



田川郡身体障害者体育大会を 福智町で開催

毎年、田川郡の町村で持ち回りの田川郡身体障害者体育大会が今年は10月27日、福智町の方城グラウンドでおこなわれました。競技は7町村による対抗戦でパン食い競争、玉入れ、タイヤ転がしなどユニークな11競技がおこなわれました。福智町から参加の32名もハッスルプレーで交流を深めました。



子育て応援します ファミリーサポート事業 をご利用ください



- 冠婚葬祭で子どもの面倒がみられない
- 病院に行くときに一緒に連れていけない
- 保育園の送迎をおねがいしたい
- たまには気分転換がしたい

などで子どもをあずかってもらいたいと思ったことはありませんか？ ファミサポ事業では、子育てサポーター養成講座を修了した「まかせて会員」さんが、あなたの子どもを預かります。

対象の子どもは6ヵ月～小学6年生です。初めてご利用の方は、会員登録、オリエンテーション、事前の顔合わせ等がありますので、できれば1週間前までにご連絡ください。

利用料金 月～金 AM6:00～PM8:00 1時間500円
土・日・祝日・年末年始・上記以外の時間帯 1時間800円

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778

相談事業のご案内

社会福祉協議会では、各種相談を受け付けております。秘密は厳守、相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。

心配ごと相談

第1・第2木曜、第3土曜
10:00～15:00
※日程・場所等の詳細は社協だより
りきずなをご覧ください。
問：22-6631（社協総務課）

司法書士相談

第3土曜 10:00～15:00
※4日前までに予約が必要です。
日程・場所等の詳細は社協だより
りきずなをご覧ください。
問：22-6631（社協総務課）

結婚相談

第1・第2・第4土曜
10:00～17:00
金田社会福祉センター
問：杉本数男さん（結婚アドバイザー）090-9496-2058



田川市在住の是澤清一画伯より、油絵「ひまわり」(50号)の寄贈をいただきました。誠に有り難うございました。画は社協の相談室に飾らせていただいています。

福智町社会福祉協議会の ホームページを リニューアルしました



社協ホームページのトップページをリニューアルしました。合わせてブログ機能を追加。最新の情報をお伝えできるようになりました。またフェイスブックページも開設。「いいね！」をよろしくお願いします。

 <http://wel-fukuchi.net/>
 福智町社会福祉協議会



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます。本誌は共同募金の配分金によって作成されています。

社会福祉協議会情報 ふれあい 第21号

平成26年1月発行

編集・発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

所在地 ☎822-1201 福岡県田川郡福智町金田1154番地2
TEL: 0947-22-3778 FAX: 0947-22-6678

ホームページ <http://wel-fukuchi.net/>